『韓非子・説林上』

◆◆通釈◆◆

不死の薬を（楚の）荊王に献上した（訪問）者がいた。取り次ぎの役人がその薬を受け取って宮中に入った。宮中警備担当の兵士が（役人に）「（その薬は）食べられるか」と尋ねた。（役人が）「食べられる」と答えると、兵士は薬を奪って食べてしまった。荊王は（これを聞いて）激怒して、警備担当の兵士を殺させようとした。兵士は人を立てて王を説得させるために次のように言わせた。「私めが取り次ぎの役人に尋ねたところ、役人は『（その薬は）食べられる』との返事でした。私めはそれだから食べたのです。このことは、私めに罪はなくて、取り次ぎの役人に罪があるということです。それに訪問の方が不死の薬といって献上したのに、私めが食べたために王様が私めを殺したとすれば、この薬は（不死の薬ではなく）死の薬ということになります。ということは、訪問の方が王様を騙したことになります。すなわち、罪のない私めを殺すことによって、そのお方が王様を騙したことが明らかになります。（そうなるよりは）私めをお咎めなしとしたほうがよいでしょう」と。荊王はそんなわけで警備担当の兵士を殺さなかった。

次の文章を読んでであとの問いに答えよ。

①有献不死之薬於荊王者。②謁者操レ之以入。中射之士問日、「③可レ食乎。」日、「可。」因奪而食レ之。王大怒、使三人殺二中射之士一。中射之士使二人説一レ王日、「臣問二謁者一。謁者日、『可レ食。』臣故食レ之。是④臣無レ罪而罪在二謁者一也。且客献二不死之薬一、臣食レ之而王殺レ臣、是死薬也。是客欺レ王也。夫殺二無罪之臣一而明二人之欺一レ王也。不レ如レ釈レ臣。」⑤王乃不レ殺。

（「韓非子・説林上」より）

問一　書き下し文に合うように、傍線①の白文に返り点と送り仮名をつけなさい。

書き下し【不死の薬を荊王に献ずる者有り】

有献不死之薬於荊王者

問二　傍線②を現代語訳せよ。

【　　】

問三　傍線③は二つの意味にとることができる。二通りの現代語訳を答えよ。

①【　　】

②【　　】

問四　傍線④「臣無罪而罪在謁者也」とあるが、「中射之士」が挙げた、自らの無罪を主張する理由を八〇字以内で説明せよ。

問五　傍線⑤「王乃不殺」とあるが、荊王はなぜ殺さなかったのか。あてはまらない選択肢を選びなさい。

ア　「中射之士」の主張は理路整然としており、反論の余地がまったく無かったため。
イ　取り次ぎの役人の返答が曖昧であり、「中射之士」の責任を追及できなかったため。
ウ　不死の薬を飲んだ「中射之士」を処分してしまうと、不死の薬に矛盾が生じるため。
エ　「中射之士」は、取り次ぎの役人の策略により不死の薬を飲んだことに気づいたため。
オ　献上されたものが本物の不死の薬でないことが証明されると、王の権威が失われるため。